



大井 哲郎 議員
おおい てるお 議員
自民党広島会 大竹市

高齢者の介護サービスの確保

問 介護施設の不足が常態化し、今後もニーズの高まりが確実に進んでいる。療養病床転換推進計画の進捗見込みを含め、施設系介護サービスの確保について、どのような見通しを持ち、サービスの充実強化にどう取り組むのか伺う。

答 昨年度策定した計画に基づく新規整備や、国の緊急経済対策に呼応した前倒し整備により、希望者のニーズを充足できると考える。療養病床から介護保険施設等への転換についても概ね計画どおり進んでおり、今後も新規の施設整備を着実に進め、施設系介護サービスの充実を目指す。

用語解説 療養病床転換推進計画
高齢者の状態に応じたサービスを再提供するため、療養病床を再編成する計画。介護療養病床は、老人保健施設や特別養護老人ホームなどの介護施設等に転換される予定である。

問 障害者の自立支援対策
応益負担制度の導入等により大きな混乱をもたらした障害者自立支援法の廃止と、新法の制定が決定された。県の支援策も見直しを迫られると思うが、新法制定までの間、どのように障害者の自立支援に取り組んでいくのか。

答 新制度が確立するまでは利用者負担の軽減等を目的とする障害者自立支援特別対策に効果的に取り組むとともに、新制度に盛り込まれると考えられる一般就労支援の充実なども着実に推進する。来年度は、未設置圏域に就業等の一体的な支援を行うセンターを設置するなど、県独自の取り組みも積極的に進める。



田辺 直史 議員
たなべ ただし 議員
公明党 福山市

平和貢献に向けた取り組み

問 知事がマニフェストに掲げた「ひろしま国際平和センター機能の構築」について、来年度予算にはほとんど見込まれていないが、知事の平和に対する思いや理念はどのようなものなのか。また、事業の実現に向け、どのようなスケジュールで取り組むのか。

答 私自身、平和への強い思いを持っており、広島県の知事として、核兵器廃絶の機運を醸成し、国際平和貢献活動の充実や、広島県の知名度を生かした平和施策の実施についてまずはネットワークの構築などの基礎づくりから始め、着実に取り組む。

問 瀬戸内 海の道一兆円構想
「瀬戸内 海の道」だけではなく、尾道松江線の全線開通によって日本海から太平洋までつながるため、スケールの大きな構想を目指すこともできる。さらには、東アジアを含む世界に開かれ、通じる海の道をイメージした構想とすべきではないか。

答 瀬戸内海を中核エリアとして、地域資源を磨き、そのネットワーク化を図ることが構想の狙いである。いしへの交易・交流ルートを生かした地域振興策なども組み合わせながら、航路や高速道路網等の交通インフラのメリットを生かして効果を高めたい。

2月26日 一般質問(要旨)



福知 弘 議員
ふくち もとひろ 議員
民主翼政会 広島市西区

細見谷の幹線林道整備

問 旧緑資源機構が進めていた細見谷の幹線林道整備事業は、

明らかに税金の無駄遣いである。この事業が本当に必要なのか、また、先送りされている事業承継の可否の判断について、検討がどの程度進んでおり、いつまでに結論を出すつもりなのか伺う。

答 幹線林道整備事業について、未整備の五区間のうち事業進捗率が高い二区間を承継し、来年度から着手したいと考えている。「戸内・吉和」を含む残り三区間についても地元市町から事業推進の要望を受けており、二区間の実施状況を勘案しつつ、関係機関と調整を図りながら検討していく。

用語解説 幹線林道整備事業
緑資源機構の廃止後、関係自治体の整備については是非を判断し、国の補助事業として実施されることとなった。細見谷(ほそみだに)は、「戸内・吉和」区間の一部。

問 五日市港の産業廃棄物積出施設
施設の予定地付近に学校があり、保護者から計画の見直しを求める声が強くなってきている。五日市地区で住民の意見を直接聴く場を設け、計画の見直しも検討すべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答 施設の設置を円滑に進めるためには、地域の理解と協力が重要であり、五日市地区の事業計画については、計五回の地元説明会を開催し、住民の意見を伺っている。厳しい意見もいただいたが、引き続き、説明会を開催し、協議会を設置して意見を聞きながら、事業を進められるよう努める。



佐藤 一直 議員
さとう いっちょく 議員
つばさ 広島市中区

職員給与カットの中止について

問 知事は、職員給与のカットの中止理由として、十二月八日

の記者会見では、財政に与える影響と職員の生活や士気とのバランスを考えると「言われたが、この定例会では、職員の士気を高めることは目的としていない」と答弁された。何故いまだに否定するのか。

答 さまざまな事情を総合的に勘案し、来年度も給与抑制措置を継続することは適切でないと判断し、三つの理由を申し上げた。記者会見での発言は、中期財政健全化計画の策定に当たり、給与のあり方も検討すると申し上げる中で検討項目として触れたものである。

問 旧広島市民球場跡地の有効利用
跡地の有効利用について平成十九年十二月定例会で質問したが、いまだに何も変わらない状況である。内野スタンドを利用してサッカー専用スタジアムを建設すれば、広島市長が提案する折鶴公園計画案よりも建設費は安く済む。今一度、広島市長と話し合い、拠点機能の向上につながるような魅力づくりを提言してはどうか。

答 現在、広島市において跡地利用計画に基づく検討などが行われている。広域的に人々が集まり賑わいのある魅力的な都市空間が形成されるよう、さまざまな場面で市と意見交換していきたい。



小林 秀矩 議員
こばやし ひでのり 議員
良政未来会 庄原市

知的財産を活用した中小企業の活性化

問 地域に根ざした内発型の産業集積により新産業を育成し、中小企業の活性化を図るためには、知的財産の有効活用とともに、「頭脳誘致」を含めた人材の育成・確保が重要と考える。今後、どのように取り組んでいくのか所見を伺う。

果が上がっている。県内の人材育成のみならず、県外からの人材の招へいなどにより、技術開発力などを備えた人材の育成・確保に努め、県内中小企業の新分野進出等を促して本県産業の活性化を図る。

問 中山間地域対策の基本方針
すべてのものが限界に近づきつつある中山間地域の実情をつぶさに調査・分析し、その上で、県の姿勢を明確にするため、中山間地域の将来のあり方と総合的な対策の方針を示した条例を制定すべきと考えるが、所見を伺う。

答 来年度から「過疎地域の未来創造支援事業」に取り組み具体的で実効性のある未来創造計画の策定に向けて市町と一緒に議論し、支援する。中山間地域対策を進める上で、条例制定がどのような意義を持ち、役割を果たすのか、実態面での効果や他県の実施状況も参考にしながら研究していく。



石橋 良三 議員
いしはら りょうぞう 議員
自民 広島市安佐南区

3月1日 一般質問(要旨)

問 全国学力テストへの対応
福山市は県内で唯一、抽出校以外で全国学力テストを実施しないとしており、なぜ、福山市だけが不利益を蒙るのかと、子どもや保護者は深刻な思いをしていると察する。福山市が全国学力テストに参加しないことについて、どのように指導してきたのか、またその理由をどのように把握しているのか、教育長に伺う。

答 各市町教育委員会に対し、県と国の調査を活用して児童生徒一人ひとりの指導改善を進める重要性を指導してきた。福山市に他の市町の状況を説明し、「このような状況はほかの市町も」との申し上げが採点する教員の負担等を理由に実施しないとの説明を受けている。

用語解説 全国学力テスト
文部科学省が行う全国学力・学習状況調査のこと。教育指導の改善等を行うため、小学6年生と中学3年生の全員を対象に実施されているが、平成22年から抽出調査になる。

問 教職員の懲戒免職処分
小学校長が校長室でセクハラ行為を行った事案に対し、県教育委員会は懲戒免職処分とした。道義的責任も問われなければならないが、相当であると思うが、人事委員会はこれを停職処分に軽減する判決を下した。この事案について知事はどのように考えているのか伺う。

答 事案のような行為は断じて許されないと考えているが、独立性が強く求められる人事委員会の準司法的権限に基づく個々の判断について、所見は差し控える。



中原 好治 議員
なかはら こうじ 議員
民主翼政会 広島市南区

問 出島地区廃棄物処分場
整備の遅延等多くの問題があり、出島地区廃棄物処分場の供用開始の見通しは極めて不透明である。埋立護岸の整備状況と五日市積出施設の設置も含めた供用開始スケジュールはどうか。また、地元住民と締結した環境保全基本協定書を守る気があるのか伺う。

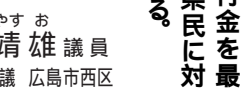
答 埋立護岸は工事の最終段階を迎えており、平成二十二年年度末には完成する。五日市積出施設等はできるだけ多くの関係者の理解を得て着手したいと考えており、出島処分場が早期に供用開始できるよう作業を進めたい。また、協定の内容は尊重していく。

問 県立美術館の今後のあり方
美術品及び美術に関する資料の取得を行うために設置された「美術品等取得基金」の廃止により、県立美術館の機能や魅力が失われることがあってはならない。県立美術館の今後のあり方についてどのように考えているのか。

答 周辺環境が変わり県民ニーズが多様化する中、県立美術館の役割の再確認とさらなる魅力づくりが課題である。作品の収集・活用方針を含め、利用者サービスの向上や企画展の充実など、活性化に向けて多方面から検討を行う。

問 県民に見える警察活動
県民アンケートの結果、半数が制服警察官のパトロールを希望している。犯罪の抑止につながる警ら活動や駐車違反の取り締まりなど、県民が期待している。目に見える警察活動をどのように進めていくつもりなのか。

答 犯罪・交通事故の多発時間帯を中心とした職務質問等による検挙活動や、被害者になりやすい高齢者を対象とした巡回連絡等を重点に、街頭での警察活動を展開している。今後とも徹底した業務の合理化・省力化や交番相談員の効果的な運用により、パトロール、白バイ、制服警察官のパトロール時間を確保し、県民の目に見える警察活動を強化する。



山本 靖雄 議員
やまもと やすひろ 議員
自民刷新会議 広島市西区

問 県出資第三セクターの債権放棄
広島エアポートビルディング開発(株)の債権放棄に関連し、知事は経営陣と県の責任をどのように認識しているのか。また、どのような

な経営見直しと体制により企業再生を図ろうとし、それにより経営責任を果たせると考えているのか。

答 民事再生による再建の見通しがついた段階で、経営責任にかんがみ役員らの退任等を行い、新体制に移行する見込みである。十年間で三億円の返済原資を確保するなどの再生計画案が着実に実行されることにより、貸付金を最大限回収していくことが県民に対する県の責務と認識している。